

## 第37回 緑の市民懇話会 会議録（要旨）

1 日 時 平成28年 3月 1日（火） 10:00~12:00

2 場 所 生駒市コミュニティセンター 203・204会議室

### 3 出席者

（委 員） 久座長、下村委員、磯貝委員、稲葉委員、大鋸委員、倉品委員、児玉委員  
林原委員、日高委員、山田委員、岩井委員、北島委員

（事務局） 前川みどり景観課長、中川花のまちづくりセンター所長、巽みどり景観課課長補佐、  
松田みどり景観課緑化推進係長、中川みどり景観課副係長

### 4 議事内容

1 開 会

2 案 件

（1）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

（2）補助金及び助成金交付要綱の改正について

（3）その他

### 5 議事録

（1）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

#### 【事務局説明】

- ・コンテストに応募されたコミュニティ部門12件、学校部門9件、事業所部門2件、個人住宅部門5件の合計28件を、春・秋・冬3回の現地審査を実施し、その現地審査の結果をもとにご検討、ご協議いただき、最優秀賞、優秀賞、各部門での各賞の決定をお願いしたい。
- ・春秋冬の現地写真のスライドを流しながら、場所と内容を再確認。

#### 【委員意見等】

＜選考：最優秀賞、優秀賞＞

- ・全体から最優秀賞と優秀賞を各1点、それぞれの部門ごとに景観賞とまちづくり賞を各1点ずつ決めていく。（発言）

コミュニティ部門の①⑦⑧、個人部門の②が高得点であった。（発言）

- ・最優秀賞は、最高得点であったコミュニティ部門⑦でよろしいか。（発言）

⇒異議なし。

- ・その次に高得点であったコミュニティ部門①と⑧、個人部門②は僅差であり、優秀賞をどうするか議論して決めたい。（発言）

- ・3つの中で、ここ数年間の成長・発展が著しいのはコミュニティ部門の①である。活動人数が少なくても頑張っている。公共的な場所で景観に貢献している。(発言)
  - ・これらの意見から、優秀賞はコミュニティ部門①でよろしいか。(発言)
- ⇒異議なし。

<選考：コミュニティ部門>

- ・⑦が最優秀賞に、①が優秀賞に決定したので、次に点数が高い上位2件は⑧と③の順である。景観やデザインに貢献している方に「景観賞」、みんなで頑張っている方に「まちづくり賞」となるので、参加人数30人でがんばっている③に「まちづくり賞」、⑧に「景観賞」でいかがか。(発言)
- ⇒異議なし。

<選考：学校部門>

- ・⑤は、冬の審査時、植替え準備中のため評価ができなかったが、このような場合の選考方法をどうすればよいか。(発言)
- ⇒もし、⑤が春秋の審査で良い成績であれば、2回の合計点に1.5倍した数を年間合計点と考えてよいと思われるが、今回は、春秋の審査時に点数が伸びておらず賞の対象にないことから、考慮しなくてよいと決定。
- ・上位2件は、⑦と⑧である。この2件から賞を決めてよろしいか。(発言)
  - ・⑦は、ペットボトルでごぼう・果実・へちま等も栽培しており、食育と結びついているのが素晴らしい。(発言)
  - ・⑧が「景観賞」、⑦が「まちづくり賞」でよろしいか。(発言)
- ⇒異議なし。

<選考：事業所部門>

- ・この部門は2件の応募だが、それぞれに賞を差し上げるかどうかの議論が必要。(発言)
  - ・①は、柵を設けたり景観に対しても工夫がみられ、意欲的になっている。冬の審査時は、花が綺麗であった。段々よくなって成長している。応援したくなる。(発言)
  - ・①は冬の審査の点数が上昇している。努力賞の気持ちも込めて、まちづくり賞。②は景観賞でよろしいか。(発言)
- ⇒異議なし。

<選考：個人住宅部門>

- ・①②の上位2件でよろしいか。よろしければ、ご家族4人でお世話されて、参加人数が多い①がまちづくり賞、②が景観賞でよろしいか。(発言)
- ⇒異議なし。

<選考：その他>

- ・これら以外に賞は出せないか。

- ・コミュニティ部門⑫は広い面積で、草ひきも含め非常に努力されている。今回花も綺麗で、よくここまで成長させたものだった。(発言)
- ・応募回数も多く、これまでよりずっと綺麗で、やっとここまでこられたかと思う。(発言)
- ・点数が伸びていないのはなぜか。もう少し点が上がってよいと思う。(発言)
- ・今後も頑張っていたらいいという意味合いで、今回特別に奨励賞を差し上げるということでよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

#### <結果>

- ・最優秀賞       コミュニティ部門⑦
- ・優秀賞         コミュニティ部門①
- ・部門賞（景観賞・まちづくり賞）
  - コミュニティ部門（景観賞：⑧ ・ まちづくり賞：③）
  - 学校部門         （景観賞：⑧ ・ まちづくり賞：⑦）
  - 事業所部門       （景観賞：② ・ まちづくり賞：①）
  - 個人住宅部門     （景観賞：② ・ まちづくり賞：①）
- ・奨励賞         コミュニティ部門⑫

- ・以上のとおり、緑の市民懇話会の意見として市へ報告したいが、報告に関してご一任して頂いてよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

#### <今後の予定>

##### 【事務局説明】

- ・受賞者は「第9回花・緑まちづくりフェスタ in ふろーらむ」での表彰を予定しており、その節は当懇話会を代表して久座長に講評をお願いしたい。
- ・平成28年度の「第9回花と緑の景観まちづくりコンテスト」について、応募要領（案）及び、審査要領（案）を作成している。今年度の内容と変更はないが、現地審査の項目、審査時期や回数等はいかがか。

##### 【委員意見等】

- ・応募要領は今年度と変更なしでよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

- ・審査方法はどうか。(発言)
- ・3回の審査回数は必要か。9月は暑く、花壇が手入れされていなかった印象がある。4月・11月だけでよいのでは。(発言)
- ・9月の審査があったからこそ見るものがあった。暑い中でも花を咲かせておられた所もあり、そこに審査の意味がある。(発言)
- ・このコンテストは花のコンテストでないので、緑をみせる工夫があってよいのでは。(発言)

- ・幼稚園や保育所は「緑のカーテンコンテスト」に応募され、そちらに力が入っている。(発言)
- ・緑のカーテンも、こちらの審査基準にあっている。(発言)
- ・応募要領どおりもう1年、9月も審査するということがか。(発言)

⇒異議なし。

- ・審査時期はどうか。(発言)
- ・春は、初夏から夏の花の種を育てている所があり、4月の審査では間に合わない。(発言)
- ・春の審査は、「4月下旬」から「5月中旬」に変更でよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

#### 【事務局説明】

- ・今年度は審査日程を通知しなかった。しかし、何件か問い合わせがあり、その方達にはお答えした。また、知らせることによって不在が少なくなる。植替え等の理由で花がなくても、管理状態を見せていただくことも審査対象になるのだと納得いただける。

審査に支障がなければ、次年度は応募者に日程のご案内をしてよろしいか。

#### 【委員意見等】

- ・特に個人住宅では、不在だと門の中での管理状態が見られない。(発言)
- ・応募者が在宅だと、会話から、文や写真だけでは分からない情報が得られる。(発言)
- ・公平にするには、皆に日程を知らせるべきだ。(発言)

⇒ハガキ等で、日程を通知することに決定。

- ・部門のふり分けはこちらではせず、応募者にまかせる。しかし、アドバイス程度のことはしてよいのでは。(発言)

⇒異議なし。

- ・当コンテストの募集伝達の仕方、広報掲載から募集締切日の期間が短いと思うのだが。(発言)
- ⇒年度替わりの関係で、広報は毎回4月1日号に掲載、今年度のコンテスト参加者と助成金の活用団体には、当コンテストのお誘い案内を3月中に届ける。市のホームページも4月1日以降に掲載する。

- ・皆さんにも、当コンテストお誘いのお声掛けをお願いしたい。(発言)

⇒これまでの変更事項に基づき、応募要領及び審査要領について改正することに決定。

## (2)「補助金及び助成金交付要綱の改正」について

#### 【事務局説明】

- ・補助金及び助成金交付要綱は3年ごとに改正しており、その期限が切れるため期日を延長する。

#### 【委員意見等】

- ・事務局で3要綱を改正いただくということでよろしいか。(発言)

⇒異議なし。

### (3) その他について

#### 【事務局説明】

##### <花とみどりの楽校（気づき編）の報告>

- ・身近な生駒の自然に目を向け、まちの中の花やみどりに気づいてもらう目的で、今年度「花とみどりの楽校（気づき編）」を5回開講した。「気づき編」は、子育て世代・子育てに余裕ができた世代を対象に、受講しやすい1回単発の体験型講座とし、楽校の存在を知っていただくことも目的とした。講座内で30分程度の座学時間を設け、学んだことを家庭で実践できるような資料を作成し、また、楽校を知っていただくためのチラシも配布した。
- ・スライド写真を流しながら、各回の様子やアンケート結果等を説明。
- ・平成28年度は、引き続き「気づき編」を5月から開講予定とし、「里山づくり編」を見直して、ボランティアグループ2団体ご協力のもと、秋から開講予定である。

#### 【委員意見等】

- ・どんぐりを食べて、美味しいと言った子どもはいたのか。（発言）  
⇒ほとんどが初めて食べたようで、香ばしく炒ったこと、食感も残るように砕いたこともあり、風味良く美味しいという声が多かった。
- ・どんぐりで草木染めをしたら、女性の受講生がふえるかも。（発言）
- ・古代、どんぐりの木を沢山植えて育てており、日本人の食文化のルーツであることも教えてあげたい。良いテーマだと思う。感動した。（発言）
- ・縄文文化より1万年同じ食文化が続いていることは、世界で例を見ない。それを支えているのは森の恵みで、森に植えて育ててきたことが要因であり、環境に優しい文明であることも注目されている。このことも伝えていきたい。（発言）
- ・「セミの羽化を見よう」の参加者が多かったのは、夏休みだったこともあるのでは。（発言）  
⇒夏休みの宿題にと広報に掲載したことも一因である。
- ・今年度の花とみどりの楽校は、協会がやっている自然学習のように単発的なイメージがある。20人から30人の参加者があり、ファンが増えて悪くはないのかもしれないが、楽校の目的設定が必要だと考える。楽校の何を知らしめたいのか。生駒の自然をとというのはよいが、焦点を絞る必要があるのではないかと考える。3年間は同じテーマで、その中で今年は何をしようかという想定やストーリーを持つことが必要でないかと考える。（発言）  
⇒ご指摘のとおり、今年度の各講座に関連性がないことが反省点である。

##### <保護樹木の指定状況の報告>

#### 【事務局説明】

- ・保護樹木の指定状況を報告。

<第9回 花・緑まちづくりフェスタ in ふろーらむ開催報告>

【事務局説明】

- ・5月8日（日）開催予定。花と緑の景観まちづくりコンテストの表彰式と、多くの子どもに来ていただけるように、「おもちゃの病院」の開院を予定している。現在、実行委員会において内容を検討していただいている。
- ・昨年オープンした Cafe ふろーらむは1周年を迎える。フェスタ当日は、通常の飲み物とハンバーガーを販売し、フェスタ終了後に1週間の特別販売を予定している。内容は現在検討中。

<次回の日程について、平成28年4月25日（月）10時からに決定 場所は後日連絡>